



富士山の山小屋の明かりが灯り、本格的な夏も間近です。学校では、最後の追い込みに力が入っています。確かな習得を目指して、先生も奮闘の毎日です。学期末に手にする成績表は、子どもの努力の表れでもありますが、先生方の熱い思いも盛り込まれています。成績の結果だけにこだわるのではなく、長い夏休みに何をしたらいいかの指南書として活用してほしいと思います。

## 大きな手だったよ。玉枝さんの手

エベレスト女性最高齢登頂 渡辺玉枝さん

～富士河口湖町の小中学校で講演会～



8843mの山を制覇し、6月の始めに日本に帰ってきました。下山したところで、世界中の報道陣に囲まれ、自宅に帰ってきて取材の嵐。のんびり体を癒す暇もなく、町内の小中学生のために、山登りの楽しさや苦勞、そこでのエピソードなどを、写真を見せながら話してくださいました。子ども達からの素朴な質問にも、心安く答えていただきました。優しい話し方で静かな雰囲気玉枝さんからは、過酷な山は想像できません。握手をした子ども達は、その手の大きさにびっくりし、節のがっしりした手に感動していました。この手がピッケルを握り締め、雪山を一步一步突き進んでいったのかと思うと、感銘に耐えられません。それだけでなく、偉業に奢らない穏やかな人柄に子ども達は魅了されていました。子ども達の心に刻ま

れた「山の魅力」、まずは、富士山に登ってみたいと思う子がたくさんいました。困難は他人まかせにしないで、家族で共有すると大きな財産になると思います。今年の夏は、家族で山に登ってみてはどうでしょう。富士山にこだわらず、三つ峠や五湖台、天上山でもいいと思います。大切なのは、そこで共有する時間だと思います。

## 富士山アンケートの結果から

「富士山の頂上まで登ったことがありますか？」

「富士山は眺めるもの、登るものじゃないよ。」登らずにきてしまった人の返答です。

登りたいけど機会がない、頼りになる人と一緒じゃないと自信がない、家族との時間が合わないなど様々な事情で、諦めている人がたくさんいます。玉枝さんの講演を聞いた小中学生は少なからず、登りたいと思っています。玉枝さんから教えていただいた「あきらめない気持ち」をぜひ体験させてあげてください。

最後になりましたが、富士山アンケートにご協力ありがとうございました。これからの富士山学習に生かしていきたいと思っています。アンケートの結果は、CATVにて報告させていただきます。

